

優秀賞

異世界転生 未知の病から生き残れ

瀧澤 宏介（医科大学6年生：和歌山県）

私は医学部6年生として病院で学ばせていただいています。患者さんについて勉強する時、バイタルサインや身体所見に注目するようによく指導されます。バイタルサインとは体温、血圧、呼吸数など生きていく上で重要な活動の指標で、身体初見とは病気の時に体に出現する兆候のことです。これらは学生の簡単な診察でも把握できるものが多いですが、見逃してしまうと時には生命の危機に直面してしまうことも少なくありません。そして、これらは経時的な変化を見ることが重要です。例えば同じ血圧90の人でも昨日まで140程度であったおじいちゃんと同程度の若い女性では重要度が異なります。つまり日常的に自分の体の値を把握しておくことは予防医学的な観点から非常に重要であると言えます。

さて、今回提案させて頂くゲームは「異世界転生 未知の病から生き残れ」です。このゲームではなんの変哲もない社員が突然心臓病でなくなり、異世界に転生します。転生した主人公は今度こそ天寿を全うできるように健康に生きることを誓います。感染症や外傷、心臓病や癌など様々な病気に直面しながら、自分の健康に気を使い成長していく物語です。

このゲームのポイントは2点です。1点目は未知の病気だけでなく、新生児期から老年期までによく直面する疾患に触れることで、予防のための知識や初期の症状を啓蒙する狙いです。2点目はゲームを始める前にバイタルサインの提示を求められるようにすることです。例えば、自分のその日の血圧、体重、心拍数、呼吸数、体温などを入力することでアイテムがもらえたり、異常状態が治ったりするのです。こうすることで、日頃目を向けることのない自分のバイタルサインに向き合うきっかけを作ることができます。

このようなゲームを通じて自分の健康と向き合い、一人でも病気に苦しむ患者さんが少なくなることを祈っています。